



はじめのことば

防府支部長

岩田光弘



四月二十九日は恒例の全教一斉ひのきしんデー、陽光に心も身体ものびのびとひのきしんをさせていただける喜びを感じる。この日は世界いたるところで行われることを思うと一段と勇み心も湧いてくる。

防府支部では国指定名勝「毛利氏庭園」でさせて頂いている。自然を生かしながらも、石組や植栽、瓢箪池を回遊する道は幽

No. 329 発行
 天理教山口教務支庁
 〒754-0001
 山口市小郡上郷1569番地1
 TEL 083-972-5004
 FAX 083-972-5003
 MAIL kyomu@honey.ocn.ne.jp

5月本部お勤め時間		
日	朝	夕
1~15	5:30	7:00
16~31	5:15	7:15



れている。

玄な世界を味わえる。ちょうどこの時期は藤やつつじの花を観光される観光客も多い。ひのきしんデーに参加される方は観光客の方々に喜んでいただくとうひのきしんにも心がこもる。

さて私たちがさせて頂くひのきしんには、言うまでもなく、土持ちや、草取りだけに限らない。教典に「ひのきしんは、信仰に燃える喜びの現れで、その姿は、千種万態である。必ずしも、土持だけに限らない。欲を忘れて、信仰のままに、喜び勇んで事に当るならば、それは悉くひのきしんである。」また「一時の行為ではなく、日常の絶えざる喜びの行為である。」と記さ

日々結構なご守護を頂いて生かされている喜び、そして日常生活において、互い立て合いたすけ合うという陽気ぐらしをお望み下さる親神様の思いに浴った信仰の実践でもある。みか

ぐらうたに、やむほどつらいことハないわしもこれからひのきしん

(三下り目 八ツ)

私は、六年前の大きな事故から歩けることの喜びを感じ、現在まで毎朝駅前でのゴミ拾いや駅のトイレ掃除をさせて頂いている。始めたころは歩けることの喜びの中に感謝の心をもってさせて頂いておりましたが、だ

んだんとゴミの多さに捨てる人を責める心が湧いてきます。トイレもどうしたらこんなに汚れるのかと不足の心も湧いてくる。よくをわすれてひのきしんこれがだいゝちこえとなる

(十一下り目 四ツ)

そうだ、させて頂くという心から、いつしかやっていると、う心、高慢の心が変わってきたのです。ゴミを一つひとつ拾いながら、ありがたいなもつたいないな。心の汚れを一つひとつ取って頂ける。またトイレ掃除も、汚した方の体調が早く良くなりますようにと祈ることが出来るようになった。信仰は子どもの心から親の心に近づかせていただくこと、親は無条件に子どもを喜ばせようと心をかけて下さる。私は親の心を忘れていたことに気が付きました。さあ今日も勇んで駅前ひのきしん、路傍講演に出させて頂きます。

学 生 会

春の学生おちばがえり



学生会の活動の中でも動員数の一番なのが、「春の学生おちばがえり」であります。「まなびば」や山口教区学生会おとめまなび総会などもあります。通称「春学」に向けて、学生会活動の集大成として、学生が教会回りをしたり、友達の勧誘に走りまわります。



会員の中には、「春学」が終われば仕事につく就職組の子や、大学等の進学で山口教区から離れる会員などいて、学生会の任期が短く、三年または七年ですが、山口教区は県内大学生がほとんどおらず、高校生が専門学校生が委員長を引継ぎ、一年頑張るのです。入れ替わりが激しいです。学生は、短い任期の中でも、学生同士で楽しい会議を持ち、どうすれば行事に多くの学生が、仲間が参加してくれるか



考え行動を起こしています。三月二十七日、支部に出のあつた学生達を順次乗車させて、夕刻、おちばに・周東詰所に到着しました。すると、うちの支部の子が、現地参加・現地解散で参加しているではありませんか。学生担当者が支部で会長様方に、参加をお願いしますが、やはり学生同士の勧誘・つながりには適いません。

青 年 会

私共、学生担当者は、学生の前に出る時もありますが、良い距離感を保ってみまもる役・サポートに徹して、主役である学生達に輝いて欲しいです。 記・向上 正

陽気ぐらし

PRプロジェクト

―下関支部篇

「親孝行夫婦仲良くTシャツを着て、海峡ウォーク30kmを歩こう！」にをいがけに限らず、献血でもひのきしんでも地元イベント参加でも、とにかく陽気ぐらしにつながるならどんなイベントをしても良いというルールで、各支部の委員長さんがそれぞれ独自企画を立ち上げて、企画ごとに教区の



青年会も応援に行こう、というスタンスで始まった今年度の「支部巡回」。その第一弾は下関で三〇kmを歩きぬく海峡ウォークというイベントに、『親孝行・夫婦仲良く』と背中にプリントされたTシャツをみんなで着て歩き、同時開催の「ふれあいTシャツコンテスト」に参加して、街の方々と交流しながら歩こうというものでした。

無謀にも三〇km歩こうと決心した総勢九名は朝九時に

高杉晋作が眠る東行庵を出発。まあ参加者が二万人近くいるから本当に人の多いこと！「なんかのチームなんですか？」と背中の中の文字に興味を持つて声をかけられることもしばしば。カナリアイエローのTシャツは本当によく目立ちました。

休憩地点ごとにふれあいTシャツコンテストの審査があり、チームのアピールとじゃんけんをしたりして審査員の方々との交流は本当に面白かった。ただ歩くだけでなく、いろんな人とコミュニケーションしながら歩くのは、とても楽しい時間でした。

しかし、普段はそんなにスポーツティーな活動をしていない私達。だんだんと足取りは重くなり、時間はどんどん過ぎていく。中間地点を過ぎるころには誰かがいつでも音を上げそうなのに、最年少九歳

の中村悠斗くんが再三のおんぶの誘いを断って、最後まで絶対歩く！と氣勢を上げるものだから、誰一人弱音を吐けない(笑)。海沿いの国道九号、見えてもなかなか近づかない関門橋。気がつくあたりは薄暗くなって、前にも後ろにも我々しか歩いていない…、なんて状況でも必死に諦めることなく歩き続けていると、壇之浦あたりで「そのTシャツ、すごいええこと書いてるね」と背中の『親孝行・夫婦仲



良く・陽気ぐらし』を大絶賛するおばちゃんに遭遇。なんと一緒に同じTシャツを着てゴールまで歩くことに、というステキなハプニングもありました。

とにもかくにも見事三〇kmを歩ききって下関駅に着いた頃には午後六時半過ぎ。おそらく完歩した人の中の最後尾だったでしょう。なんとか歩きぬけた身体の強さと心の元気さと仲間の絆に大感謝！見えないお土産をたくさんいただいた一日でした。

法人関係

○境内地及境内建物承認願
・ 和城分教会
(周徳支部・山陽)

教務支庁休館日 五月二十四日(木)

@Yamaguchi Kibiru

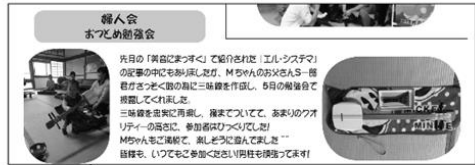
下関支部

各支部の活動を紹介する企画「@ Yamaguchi Kibiru」の記念すべき 1 回目は下関支部。活動はいろいろありますので、支部報「ふくだより」の懐かしい昔の紙面を紐解きつつ、それぞれが勇みの種を養いつつある様子を紹介していきます。



広報紙「ふくだより」の発行

天理時報の手配りと共に配ろうと始めた毎月 7 日発行の支部報。おかげさまで発刊開始から丸 6 年。これを読むと、支部の様子がふわっと伝わります。ちなみに 1 番人気のコーナーは最終面に載る「スタッフのつぶやき」。笑



婦人会
おたご勉強会

婦人会 「鳴り物勉強会」

地方の練習や女鳴り物の稽古に励みます。婦人会より男の方が多いこともある!? なぜかマニアックな人が集まる不思議な会です。笑

支部にをいがけ 「喜勇会」の布教活動

布教の家から下関に戻った青年の発案により始まってからもうすぐ 4 年。毎月 3 回、教会や駅を拠点に熱いおたすけ心を持って歩いております。



少年会 「こどもおぢばがえり団参」

毎年大勢の子ども達を連れておぢばへ帰ります。フェリーで行き来して、おぢばでは子どもも大人も大いにはしゃいで楽しんでいます。



特別養護老人ホーム 「貢船園」で清掃

毎月 1 回、老人ホームで室内の窓拭きや屋外の除草などのひのきしんを実施。とてもささやかな奉仕活動ですが、皆様のご厚意で長年にわたり活動しています。

10月賞船園ひのきしん



若いお母さんの集まり 「クローバーの会」

子育てに忙しい若い奥様が毎月 1 回集まって、茶話会をして盛り上がります。特に他所の地域から嫁いで来た方には、新たな繋がりができると喜ばれております。

New! クローバーの会



10月19日、虹石分教会を会場に、若いお母さん 4 名、お子さん 5 名、婦人自衛隊 1 名、他 2 名の総勢 12 名が集まって、おつとに集まり、子供達と体操(ダンス?)をし、茶話会を楽しみ(時間)を過ごしました。この会、まぎ自分は初しと思う(笑)お母さん方が集まって、仲良くないしと思うところから始まりました。と感想でも、お気配りに参加下さいね。